



～金井中生アンケートの結果から～



お父さん、子どもの気持ちわかつています？！

子どもの悩みを親子で解決していくために

子どもが学校生活に真剣に向き合えば向き合うほど、悩みは増えてくると思います。そんな時、親としても子どもの成長に見合ったアドバイスができるようにしたいものです。そこで今回のアンケートは親子間のコミュニケーション、特に父親と子どもの会話について調べてみました。

「日頃家庭で家族とどのくらい会話をしていますか？」という質問に対し、約90%の回答が「よくする」「まあまあ」という回答でした。全体の90%以上を占めており、本校生徒の親子のコミュニケーションはよくとれている方ではないかと思われます。中一男子生徒の数字が85%とや低いようですが、これも想定の範囲内だと考えます。子どもが中学生ともなると親子間の会話がぎこちなくなる期間が自然にできるものです。これを人は反抗期と呼ぶのですが、ここを通り抜けるとまた、自然な会話ができるようになるのではないか。そして子どもも成長していくに連れ大人のようになります。そのため、親が機嫌が良いときを見計らって、会話を切り出そうとします。そんな時、迎える親の立場としては、子どもたちの前では常に上機嫌でいたいものです。続いて、「会話の相手は誰がいちばん多いですか」の質問には、やはり生徒の性別、学年を超えて母親が一番、続いて兄弟、姉妹、父親が続きます。これは誰が一番かという質問ということもあり、全くコミュニケーションをとっていないとは考えていませんが、それでも父親は母親に比べると1/7程度という回答結果が出たのは、少し寂しい結果だと思われます。これにはさまざまな原因があると思われます。

男性はどうしても、相手がイエスかノーで答えるしかできないような質問をしたがる傾向があり、このような質問で始まります。

親子のコミュニケーション、

今どきの 親子レポート

・何でも話しやすいよう、「今日学校どうやった？」など、漠然と聞いています。

・子どもといふとき、時間があつたら会話がゲームなどを一緒にするようにして

・忙しいときでも、子どもが話しかけてきたら手を止めて顔を見て、最後まで話言い分をしつかりと聞いてあげましょう。

・教えて！
コミュニケーション
わが家の工夫

自由欄より

今回頂いたアンケートから、さまざま意見や家族のあり方を垣間見ることができます。その中で、共感できる部分もあります。その中で、共感できる部分もあります。そのため、こんな考え方もあるのかと思われた部分もあつたことでしょう。

保護者の皆さん、忙しい時間をやりくりして家事や仕事、育児に追われるなか、お子さんとのコミュニケーションを少しでもとるために色々工夫されています。子どもたちからは、「お父さん、お母さん、いつもありがとうございます」という感謝の言葉も多くあります。また、「ほめてほしく」「叱らないでほしい」など率直に思っていることもあります。

まつた会話は、最終的に説教か反論で終わってしまうことが多いようです。の保護者の方から自由欄にコミュニケーションについての回答をいただきました。勢で子どもの成長を見守つていきたいものです。また、話しを聞く技術としては、家庭でいろんな工夫をしながら、親子のコミュニケーションをとられているなあと思いました。そんな中、約4分の1の保護者の方がコミュニケーション不足に悩んでいることをわかりました。コミュニケーション不足に悩んでいることともありました。

さまざまな家庭環境のなかで、皆さんは子どもとのコミュニケーションをどのように工夫しているのでしょうか。頂いた回答の中から、一部を紹介し、皆さんの家庭において参考にして、いただけたらと思います。

・子どもと一緒に習い事（ピアノ）をしているので、その中でたくさん話しをしています。

・お父さんの困ったことなどを話します。なぜか話が弾みます。

・子どもと一緒に習い事（ピアノ）をしているので、その中でたくさん話しをしています。

・お父さんの困ったことなどを話します。なぜか話が弾みます。

・寝る前にお茶などを飲みながら、いろいろ話をしています。わかる宿題をリビングでさせています。わからないことや間違いをすぐ教えることができます。

- ・話しに関連した質問や確認を入れる
- ・話しをさえぎらない
- ・感情を否定しない
- ・合いの手を入れていく
- ・共感を示す

などがありますが、これらに共通して言えるのが子どもが気楽に話しやすい環境を与えてあげるというのが大切です。子どもの話をよくよく聞いた上で、親からの経験を踏まえた話しをしていくと、子どもも耳を傾けてくれるそうです。

・お父さんの困ったことなどを話します。なぜか話が弾みます。

・お父さんの困ったことなどを話します。なぜか話が弾みます。

・飼っている犬のことをきつかけに話します。